

ぼくのポイントせい夏休み

東広島市立寺西小学校

4年 ^{ひらい}平井 ^{しゅんいちろう}俊一朗

ぼくは、夏休みの間に、お母さんが考えたポイントせい夏休みをすることにしました。

最初は、ポイントせいをされると言われて、何をするのかふしぎでした。なので、お母さんにルールを聞きました。

ポイントせいには、お手伝いや、いろいろといいことをしたらポイントが上がります。けんかや注意をされたらポイントを失います。10ポイントが10円で、毎日ポイントをお金にかえてもらえます。ぼくはたくさん買いたい物があるので、この夏休みにポイントをいっぱいためて、ほしい物を買いたいと思いました。

ポイントせい夏休みのぼくの一日はこんなかんじです。

朝起きてラジオ体操そうに行く前に、ごみ捨てに行きます(プラス10ポイント)。帰って朝ごはんを食べて、はみがきをわすれました(マイナス10ポイント)。朝の8時から10時くらいまで勉強だけど弟とけんかをして足げりをしてしまいました(マイナス30ポイント)。近所のあぜ道の草ぬきをしました(プラス10ポイント)。お昼ごはんを食べて、お昼の1時から夕方5時まで遊びます。5時から6時までばんごはん作りの手伝いをします(プラス10ポイント)。その後お風呂そうじ(プラス10ポイント)。夜の7時から8時までは、読書や宿題をして、お風呂に入って9時にねます。もしねる時間がおそくなったら、マイナス10ポイントです。

その他にも、ごはんの前に食器を運んで、食べ終わった後もかた付けができれば、三食全部できて、プラス10ポイント。くつをぬぐ時

きちんとそろえるのを、一日中できたらプラス 20 ポイント。弟か妹をからかったらマイナス 5 ポイント。同じことを 3 回注意されたらマイナス 10 ポイント。手洗いをわすれたり、帰る時間を守れなくてもマイナスポイントです。ぼくが一番もえたポイントは、お父さんがお休みの日に、お父さんと百マス計算のバトルをすることです。お父さんは計算がとても得意なので、いつも 30 秒以上負けてしまいます。でも、もしお父さんに勝てたら、なんとプラス 1, 000 ポイントなのです。でも、一度も勝てたことはありません。

ポイントせい夏休みはもう半分終わりました。この前家族でラーメン屋さんに行って、くつをぬいでおざしきに上がる時、ぼくも弟もくつをきちんとそろえていたら

「いつのまにかポイントのおかげで自ぜんにくつをそろえられるようになったね。」

とお父さんにすごくほめられました。

いつもなら、けんかばかりの夏休みも、ポイントを気にしていたので、とてもけんかが少なかったと思います。おかげで、みんなが気持ちよく生活できることに気がつきました。毎日食事の手伝いもするようになって、ぼくは包丁を使うのがとても上手になりました。多分焼きそばやハンバーグ、カレーは、一人でほとんど作れると思います。お母さんがかぜをひいて、ごはんが作れない時は、ぼくが作ってあげられます。

いつもの夏休みだったら何も考えずに宿題だけをして終わっていたかもしれなかったです。ポイントせいがなくなっても、家族が気持ち良くすごせるように、自分で考えてすごしたいです。